

施策マネジメントシート ～令和4年度の振り返りから令和5年度の取組へ～

①計画⇒実施 (Plan⇒Do)

(5月中に記入)

長期振興計画の位置づけ	まちづくり分野	しごと分野	担当課	農林水産課				
	政策分野	地域産業	課長名	岩下 栄一				
	施策	9 林業の振興		重点施策の該当	R4	-	R5	-
施策の目的	対象	林業者、山林所有者		意図	所得を増やす 山林資源を保全・活用する			

施策の目標指標

目標指標(単位)	指標の推移(下段の()書きは見込み値)					
	令和2年度実績	令和3年度実績	令和4年度実績	令和5年度目標	令和6年度目標	令和7年度目標
林業総生産額(千円)	84,325	73,678	69,188 (85,000)	(85,000)	(90,000)	(90,000)
市内間伐面積(ha)	47.7	67.9	95.1 (60.0)	(70.0)	(80.0)	(90.0)

市民アンケート調査の結果(施策に関する重要度と満足度)

令和3年度実績		令和4年度実績		令和5年度実績		令和6年度実績		令和7年度実績	
重要度(%)	満足度(%)								
60.9	11.0	67.8	13.3						
重要度DI	満足度DI								
55.3	-11.7	63.4	-7.3						

施策推進のための取組の成果を測る指標

基本事業名	関連戦略No.	成果指標(単位)	指標の推移(下段の()書きは見込み値)					
			2年度実績	3年度実績	4年度実績	5年度目標	6年度目標	7年度目標
森林環境整備		市内間伐面積(ha)	47.7	67.9	95.1 (60.0)	(70.0)	(80.0)	(90.0)
森林環境整備		適切な管理のための森林所有者への意向調査(林班数)	0	1	3 (2)	(3)	(3)	(3)
流通加工販売体制の整備(林業)	1-1, 1-2, 2	素材生産量(m ³)	13,988	9,878	9,020 (14,000)	(14,000)	(15,000)	(15,000)
流通加工販売体制の整備(林業)	1-3, 14-37	林業生産額(千円)	84,325	73,678	69,188 (85,000)	(85,000)	(90,000)	(90,000)
多様な担い手育成(林業)	2-4	新規林業就業者数(人)	1	2	3 (2)	(2)	(3)	(3)

②-1 振り返り(Check)

施策を取り巻く環境変化・市民ニーズ等への対応	
<p>・2021年に入りアメリカの住宅建設需要増等に伴い、世界的に木材の需給が逼迫したことが原因による木材価格の上昇(ウッドショック)が生じ、丸太や製材の輸入価格の上昇、さらに国内の木材価格の上昇に影響があり、現在も上昇傾向にある。そのため、県内では、無断伐採や伐採後の再造林が進んでいないなどの問題が発生している。</p> <p>・整備適齢期に達した市有林が増えてきたことから、管内林業事業体に施業を委託し、市有林の間伐を計画的に実施している。</p> <p>・林産品の海上輸送費負担が課題となっていたため、海上輸送費の一部を助成し、島外出荷促進を図っている。</p> <p>・新規就業者がなかなか定着しないケースもあることから、高性能林業機械のリース料助成により林業の機械化を図っているほか、林業就業者の社会保険料及び退職金制度、資格取得費用の一部支援を行い、福利厚生の上昇や負担軽減により就業定着化を図っている。</p> <p>・令和3年度から種子島森林組合の財務の健全化及び経営改善に繋げるため、要望に基づき貸付金額を増額し、運営資金貸付金の償還条件の変更を行った。</p>	
施策の成果(貢献度の高い事業等)と現状・課題	
成果	<ul style="list-style-type: none"> 市有林の間伐を計画的に実施し、適正な管理に努めた。 輸送費補助により林産品の島外出荷促進が図られた。 就労条件の改善により、新規の林業就業者が出てきている。 森林組合の経営状況については、遊休資産の売却処分等の影響もあり、上半期の決算では、単年度黒字となっており、経営改善に繋がっている。
現状・課題	<ul style="list-style-type: none"> 国土調査(地籍調査)未完了地区の施業が困難である。 国内の木材需要は、依然として高い状況にあるが、人材不足による、素材生産量の減少のほか、船舶・港湾調整等の事情で、移出量の変動が発生している。 新規就業者がいても、中途退職者が生じ、なかなか人員増に結びつかない。 森林組合は、依然として累積債務が大きく、当面は指導が必要な状況である。 人工林が今後主伐期を迎える中で、民有林を含め森林の持つ多面的機能を保持しつつ、森林資源の積極的な利用が求められている。

施策マネジメントシート ～令和4年度の振り返りから令和5年度の取組へ～

今後の方向性	今後の方向性の根拠等(他施策との連携、総合戦略との関連、環境変化等を踏まえ記入)
継続・現状維持	<ul style="list-style-type: none"> ・平成31年に施行された森林経営管理法(森林経営管理制度)に基づき、森林所有者と担い手を繋ぐ役割を果たし、森林の多面的機能が発揮できる環境づくり、森林資源の活用を図る。 ・市有林整備については、境界が明確化している団地から順次進めていく。 ・森林病虫害対策及びみどり基金活動をもとに緑化保全に努める。 ・海上輸送費については、令和5年度から新たに「荷役料」に対する助成を追加し、引き続き支援を行うことで安定出荷を図る。 ・林業就業者の定着に繋がる支援を継続し、担い手育成に努める。 ・種子島森林組合の経営改善に向け、毎月事業収支状況確認を行うなど指導監督により、財務の健全化に繋げる。

②-2 政策部会による振り返り(Check)

(6月中に記入)

今後の方向性	政策部会で出された施策に対する意見等(将来像の実現に向けた課題や優先度、市民との協働のあり方など)
継続・現状維持	【産業振興部会】 施策担当課の記載する方向性のとおり。